

令和8年度第1回三鷹市交通安全推進協議会議事要旨

1 日時

令和8年8月19日（水）午後2時から午後3時まで

2 場所

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ5階 災害対策本部室

3 出席者

委員 16名

4 欠席者

委員 4名

5 傍聴者

0名

6 会議内容

(1) 委嘱状交付（机上配布）

(2) 市長挨拶

(3) 会長・職務代理者の選出

会長 平田委員

職務代理 大塚委員

(4) 報告事項

ア 令和8年三鷹市春の交通安全運動実施結果報告

(ア) 実施期間

令和8年4月6日（月）から4月15日（水）までの10日間

(イ) 会議等

(ロ) 広報活動

(ハ) 交通安全講習会、教室等

(ニ) 街頭指導

(ホ) 道路環境の整備

(ヘ) 期間中の市内交通人身事故件数

発生件数6件（死亡0名・重傷1名・軽傷5名）

イ 市内の交通事故状況（三鷹警察署）

- (7) 令和8年上半期の交通人身事故は165件で前年より4件減少した。やや減少した要因の一つとして、本年の4月1日から施行の自転車の交通通告販促制度が導入されたことで、一人一人の関心や意識が高まったことと考えられる。
- (イ) 各種関与率としては自転車が57.6%、高齢者が37.6%、二輪車が15.8%、貨物車が14.5%、子どもが9.1%、タクシーが7.9%となっている。
- (ウ) 三鷹市は交通事故において自転車の関与率が非常に高いため、自転車の運転者に対するマナー向上のための指導警告、自転車利用時のヘルメット着用の働きかけを積極的に推進していく。

〈質疑応答〉

委員：人身事故件数について令和8年2月の人身事故件数が少なくなっているが、3月以降から増加傾向となった理由はあるのか。

幹事：人身事故件数については、結果が偶然による可能性もあるが、2月は外出頻度が低い時期であり、暖くなるにつれて外出者が増加するため、グラフに示されるように2月の事故件数が少なくなったと考えられる。

委員：市内でスマートフォンを操作しながら自転車を運転している人を見るが、それが原因となった事故はどの程度あるのか。

幹事：自転車運転者によるながらスマホを主たる原因とした事故の発生は認知していない。自転車運転者の違反はあるが、歩行者のながらスマホについても見かけるため、注意をしている。

(5) 審議事項

ア 令和8年三鷹市秋の交通安全運動実施要領（案）

(7) 実施期間

令和8年9月21日（月）から9月30日（水）までの10日間

(イ) 実施主体

三鷹市、三鷹警察署及び三鷹交通安全協会

(ウ) 運動の重点

重点 1（全国重点）

歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進

重点 2（全国重点）

夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶

重点 3（全国重点）

自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールを理解・遵守の徹底

重点 4（地域重点（東京都））

二輪車の交通事故防止

重点 5（三鷹市が独自に定める重点）

自転車の交通事故防止

(エ) 運動のメインスローガン

～ 世界一の交通安全都市 TOKYO を目指して ～

(オ) 実施計画

- a 広報活動
- b 交通安全教室等
- c 街頭指導
- d 行事等
- e 交通安全施設等の整備
- f 違法駐車・放置自転車対策

〈質疑応答〉

委員：交通安全講習会は平日のみの実施だったが、前の協議会で意見をし、土曜日を追加してもらった。参加数はどの程度だったか。

幹事：三鷹産業プラザで土曜日に講習会を開催し、青切符制度についての関心も高まっていたため、多数の参加者にご参加いただいた。自転車の実技講習に適した場所を確保し、講習会の拡充も検討している。

(6) その他

ア ヒヤリハットシステムを活用した交通安全対策

ヒヤリハットシステムを活用した交通安全対策については、令和 7 年度に作成したヒヤリハット事業を拡充して実施した。

まず、対象者を市立小学校の全児童・保護者、交通安全対策地区委員に拡充した。5月上旬から6月上旬まで調査を行い、約3,000人からの回答からヒヤリハット体験マップ2026が完成し、三鷹市HPに掲載した。今後の交通安全対策の検討としても活用予定である。

ヒヤリハットシステムは、今年度からの新しい取り組みとして、連携事業者によるモデル校への出張授業を行う。モデル校は、二小、三小、四小、七小、中原小、北野小、羽沢小の7校である。

出張授業は、5年生を中心に全3回行い、3回目には5年生から2年生に完成したヒヤリハット体験マップ2026を活用し、危険地点の危険な理由と取るべき行動をレクチャーし、児童自らが安全な行動をとれるよう、交通安全意識の醸成を図っていく。

イ 三鷹市交通総合計画2027の進捗について

令和6年度に策定した三鷹市交通総合計画2027では、計画の達成状況を評価するため、評価指標を用いて目標値を定めている。その目標値に対して達成状況は資料に記載のとおり、達成に向けて順調推移している項目もあるが、自転車事故件数は増加している。三鷹警察署からの説明にもあったとおり、三鷹市の自転車事故は自転車事故全体から見ても高い割合となっている。自転車事故が減少することが、事故の総数の減少にもつながると考えられるため、三鷹警察署と連携し交通安全に努めるとともに、引き続きKPI評価指標の確認とPDCAサイクルにより計画の推進と進捗管理に努めていく。

〈質疑応答〉

委員：ヒヤリハットマップについて、地図を縮小したときと拡大したときとでは表示の色や件数に差異が出ているがどのような仕組みなのか。

事務局：地図を縮小していくと、その地点の全体の件数が現れるとともに、その地点の一番危険な色で表示される。地図を拡大していくと、ポイントが分散されていき、一番危険な色以外の色も件数とともに出現するシステムとなっている。

(7) 閉会